

滋賀は琵琶湖がもたらす水をはじめとした豊かな自然に恵まれ、古くから、その恵みを生かした良質な米作りと酒造りが行われています。

そんな県では先日、26年



2025年度のG「滋賀」合格酒



地理的表示GI「滋賀」のホームページはこちら

## ■ 酒米新品種「湖響」

# 暑さに強く 高まる期待

ぶりとなる酒米新品種の名が「湖響」と発表されました。これは、近年、酒米の生産が猛暑をはじめとする気候変動の影響を受ける中、暑さに強く安定した生産が見込める新品種として開発が進められていたものです。

期待の新品種は、今年5月から田植えが開始され、このお米を使った新酒は来年2〜3月頃から販売される予定です。

「湖響」という名称は、美しくキラキラした琵琶湖をイメージして名付けられました。

期待の新品種は、今年5月から田植えが開始され、このお米を使った新酒は来年2〜3月頃から販売される予定です。

「湖響」という名称は、美しくキラキラした琵琶湖をイメージして名付けられました。

県内では「近江牛」「伊吹そば」に続く3例目のGIとなり、「滋賀の米」「滋賀の水」「滋賀で製造」という条件を満たし、審査を通過したお酒のみがGI「滋賀」認定酒として売り場に並んでいます。



県が26年ぶりに発表した酒米新品種「湖響」



これまでの「しが旅のススメ」はこちら

県内では「近江牛」「伊吹そば」に続く3例目のGIとなり、「滋賀の米」「滋賀の水」「滋賀で製造」という条件を満たし、審査を通過したお酒のみがGI「滋賀」認定酒として売り場に並んでいます。